

平成29年度 一般社団法人岩手県バスケットボール協会基本方針

《基本方針》

- J B S (JAPAN BASKETBALL STANDARD 2016) に則り、2年目となる法人組織基盤の構築と強化を図り、各事業や諸施策を確実に実行する。
- 希望郷いわて国体・大会のレガシーを生かし、「これまで」ではなく「これから」に目を向け、新たな強化・育成・普及事業等に着手する。
- 2018年度からの新登録制度体系移行に向け、大会・事業の発展的な改革を検討するとともに、組織改編やリーグ戦導入に向けて準備・対応していく。
- B L Gクラブとの連携をさらに密にし、マーケティング活動やメディア戦略プラン等、新時代のバスケット界に協働で対応していく。

《重点実施事項》

- 総務財務部関連事項
 1. 事務処理の機能化促進 (I B Aオフィスに一本化)
 2. 社員総会・理事会等の準備と運営
 3. J B A新登録制度体系移行等に基づく定款・諸規程の見直し及び各種申請書類の集約・精査
 4. 財務処理システムの確立 (各部会会計担当者との連携)
 5. 役員報酬・旅費規程等特例措置解除に基づく対応
 6. J B A将来構想委員会に基づく対応 (県社会人連盟設立委員会)
- 事業広報部関連事項
 1. 部会組織改編による機能化 (県民球団推進委員会・収益事業推進委員会)
 2. マーケティング活動の推進による収益向上
 3. 広報活動の拡充
 4. 新規改革事業等の積極的立案と実行 (3×3事業等)
 5. B L Gクラブとの協働事業の推進 (オールジャパン運営含む)
- 競技運営部関連事項
 1. 年間競技大会計画の調整と立案
 2. 競技会開催申請と公認に関する周知 (市町村協会主催大会の把握)
 3. オールジャパン運営への対応 (オールジャパン運営委員会)
 4. リーグ戦導入への対応 (県リーグ推進委員会)
 5. B L G運営に関する対応 (C K・記録)
 6. U 1 8委員会機能化と高体連専門部との連携

7. 3×3 競技の普及拡大
8. JBA 将来構想委員会に基づく対応（全日本大学連盟法人化・U18 カテゴリー競技部会）

● 強化部関連事項

1. 国体レガシーを生かした強化育成システムの構築（中長期計画含む）
2. 技術指導分野に関する新規事業の実施（新登録制度体系移行を見据えた取り組み）
3. JBA 国体改革への対応（少年24・成年16制 少年U16 移行）
4. 連携事業（指導者・審判・BLG等）による国体強化事業計画
5. 医科学委員会の機能化

● 普及育成部関連事項

1. U15・U12 育成事業の拡充
2. U15・U12 のマンツーマン推進
3. キッズ普及促進事業の検討と実施
4. 指導者養成事業の充実
5. 障がい者BB 支援事業の拡充
6. クラブユース等との協働
7. JBA 将来構想委員会に基づく対応（U15 連盟設立・U12 カテゴリー競技部会・日本障がい者連盟設立）

● 審判部関連事項

1. JBA 審判ライセンス制度への対応
2. 審判養成事業の拡充（研修会・講習会）
3. TO 委員養成事業の拡充（研修会・講習会）
4. BLG 運営に関する対応（TO）
5. リーグ戦導入への対応（帯同審判制・ニュートラル審判依頼制度）
6. 東京オリンピックに向けての取り組み（TO 委員会）